



JFEテクノロジー株式会社の発足にあたって

代表取締役社長 藤井 徹也

JFEテクノロジー株式会社の発足に際しまして一言ご挨拶を申し上げます。

この度、旧川崎製鉄と旧日本鋼管の技術サービス分野のグループ会社として発展してまいりました川鉄テクノロジー(株)、鋼管計測(株)、日本鋼管テクノサービス(株)の三社を統合し、JFEテクノロジー株式会社(略称JFE-TEC)を新たに発足致しました。三社統合と同時に、(株)福山テクノロジーの一部業務を移管、併合し、新会社は、技術力と事業範囲を大幅に高度化、拡大し、お客様の広範囲なニーズにお応え可能な業界屈指の技術サービス会社としての体制を確立致しました。

世界経済のグローバル化の中で我が国の製造業が活力を維持して安定した経営を続けるためには、輸出型産業、内需型産業の如何にかかわらず、個々の企業が世界に誇る技術力を堅持することが益々重要となってまいりました。このような立場の製造業の皆様に対しまして、弊社は、製鉄業とその関連事業分野の技術開発で培った豊富な技術力に立脚して高度で高範囲な各種の技術サービスをご提供してまいり所存でございます。

事業部ごとの具体的な事業内容は次ページ以降に詳述致しますが、弊社の特徴を一言で申し上げますと、“技術に立脚したシンクタンク機能”と“モノ作りのあらゆる問題に対する技術サービス機能”を併せ持つ新しい形態のワンストップソリューションの

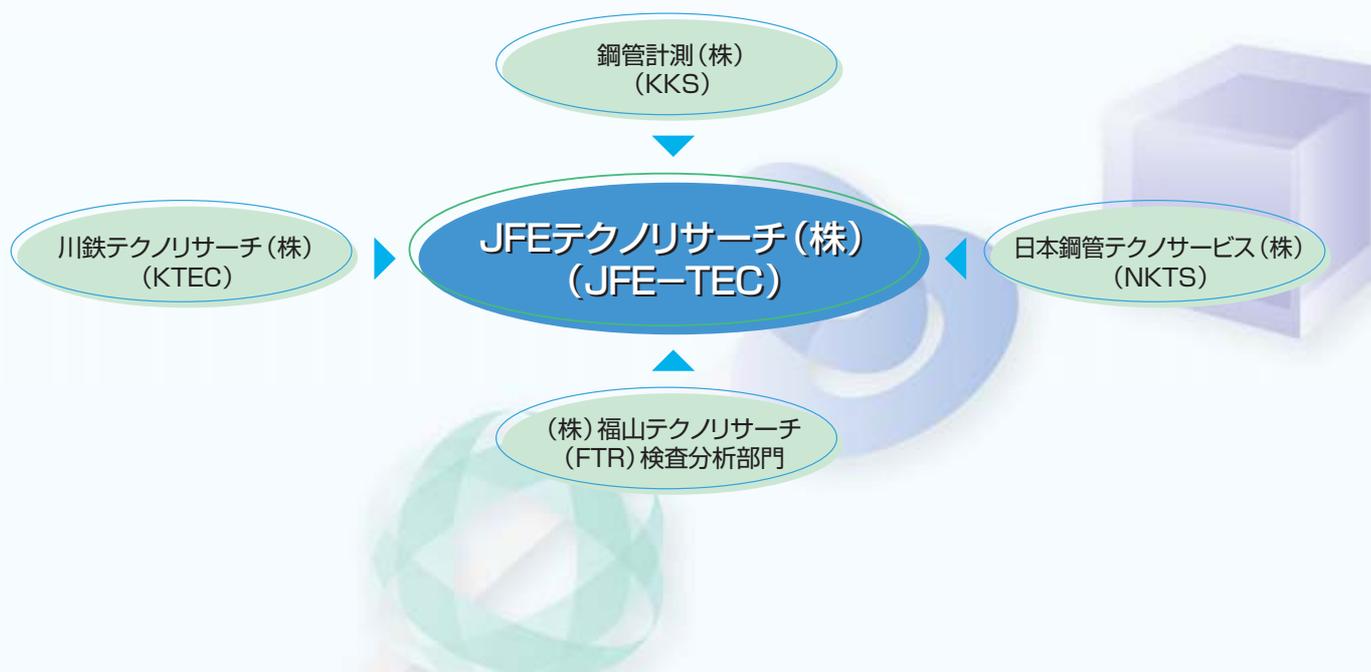
提供にあります。

技術開発のスタート段階に対しましては、知的財産を含め既存技術に関する各種の技術情報の調査、分析をご提供致します。技術開発の実行段階に対しましては、

高度な化学・物理解析技術や材料・構造物の評価技術を駆使し、開発の高度化とスピードアップをご支援致します。また、量産技術の確立段階に関しましては、計測・設備、CAE、IEなどの技術を駆使し、製造技術の迅速な安定化をご支援致します。さらには、量産時に発生する生産性や製品歩留まりなどの技術的諸問題の解決と量産技術の標準化など、モノづくりに関する課題解決技術をご提供致します。その他、環境問題やエネルギーに関する技術提供も重要な事業分野であります。

JFEグループは、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」を企業理念に掲げております。この理念の下でJFE-TECは、役員・従業員一同、常に技術力の向上に努め、お客様に信頼され、愛されるテクノ会社を目指して、技術に拘りつつビジネス展開を図ってまいり所存です。旧四社に賜りました皆様方のご厚情を新会社にも引き続き賜りますことを心よりお願い申し上げます。





資本金 1億円	従業員 1400名	売上 150億円(2003年度)
本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目1番地2号JFEビル		

・分析・評価事業部

- 千葉事業所 (旧KTEC千葉事業所)
- 京浜事業所 (旧KKS京浜分析部門)
- 知多事業所 (旧KTEC知多事業所)
- 阪神事業所 (旧KTEC阪神事業所)
- 倉敷事業所 (旧KTEC水島事業所)
- 福山事業所 (旧FTR検査分析部門と旧KKSの福山部門)

・環境技術事業部

(旧KKS環境部門と旧KTEC土壌部門)

・材料技術事業部

(旧KTEC材料・溶接・建材・防食部門と旧KKS材料・構造部門)

・計測システム事業部

(旧KTEC商品開発,SUSTEC,設備部門と旧KKS計測診断部門)

・知的財産事業部

(旧KTEC知的財産部門と旧NKTS知的財産部門)

・技術情報事業部

(旧KTEC技術情報,管理技術部門と旧NKTS技術情報,管理技術部門および旧KKS CAE部門)

・本 社 部 門



分析・評価事業部 常務取締役 森戸延行

新たに発足した分析・評価事業部は、JFEスチール(株)東日本・西日本製鉄所、知多製造所の検査分析部門およびスチール研究所から機能分社した川鉄テクノロジー(株)、鋼管計測(株)、(株)福山テクノロジーの担当部門を統合再編して構成されました。

その生立ちを反映して、千葉、京浜(川崎)、知多、阪神(西宮)、倉敷、福山の6事業所でお客様からのご要望に広くお応えする体制を取っています。

製鉄会社の検査分析、物理解析、環境分析部門を母体としてスタートした性格から、金属材料・無機材料の組成分析や材料評価を得意として、装置部品の破壊・腐食原因解析などに対応できる技術スペシャリストは当事業部で約800人を数えます。分析技術の展開からJSS鉄鋼標準試料の製造販売を委託され、また当社オリジナルの分析管理試料の提供も行っています。ナノの世界の微細構造解析や極微量分析に対応できる最新の解析装置と経験豊富なスタッフを有しており、さらにエレクトロニクス部品や有機系素材の不良解析でも信頼性の高い評価技術を提供して、お客様のさまざまな問題解決のお手伝いもしております。ちょっと趣の変わった埋蔵文化財の調査や保存処理では、当社の得意とする分析解析技術と材料に関する豊富な経験を基盤に確立した技術を提供しております。

今回の統合によって分析・評価事業部の事業所ネットワークは全国に広がり、お客様の声をこれまで以上に直接伺うことが可能になりました。お客様の忌憚のないご意見を伺いながらさらなる成長を目指してまいりますので、より一層のご愛顧をお願いいたします。



材料技術事業部 取締役 藤田米章

旧川鉄テクノロジー(株)プロセス・製品事業部と旧鋼管計測(株)材料・構造事業部の材料および構造関係の部門が合体、パワーアップし誕生した事業部です。

各種の材料、製品・部品、構造物等に関して、お客様の研究開発のお手伝い、損傷解析、最適な利用技術の提言などを旨とする、経験豊かで高度な専門家集団です。

対象とする主な技術分野は、①各種材料や製品の特性評価・解析と材料開発(材料製品部)、②多岐にわたる材料試験機、疲労試験機群などを用いた材料や部品の強度特性評価、プラント設備などの材料の劣化、余寿命診断(材料強度部)、③各種の溶接継手性能・破壊靱性試験および溶接施工法承認試験、溶接技量試験、溶接部の非破壊試験(鋼材溶接部)、④オートクレーブや促進試験装置などによる様々な腐食環境下での腐食試験と防食技術開発、構造物などの腐食診断、原因調査(腐食防食部)、⑤1000トン構造物試験機や高速サーボ試験機等の大型構造物試験機群を用いた建材および構造物の強度・耐震性など各種性能試験と評価、現地での構造物振動・応力計測と診断(建材構造部)などです。

これらに加え、この事業部の最大の強みは、上記の各分野の高度な専門家が相互に連携し、お客さまの抱える多様な課題にもトータルソリューションを提案できるところにあると考えています。全力をあげてお客様のニーズに応えさせていただきたく存じますので、よろしくお願い申し上げます。



環境技術事業部 常務取締役 佐藤 透

環境技術事業部は以下の4部門で構成されております。

〈環境調査部〉 計量証明事業所としてダイオキシン類、環境ホルモン、シックハウスの採取・分析、各種プラント性能測定や作業環境測定を行います。ダイオキシン類はMLAP(特定計量証明事業)や環境省受注資格を取得し、年間4千検体の分析実績を有しております。

〈土壌環境部〉 環境省指定調査機関として土壌・地下水汚染調査から処理対策工事まで法令・条例に則り実施致します。独自開発の最少調査区画割出ソフトOptGridによるシミュレーションと汚染土量の算出、処理対策費の迅速な提供はご好評を頂いております。

〈環境ソリューション部〉 各種試験・実験装置のエンジニアリングから運転管理、データ収集、分析・解析を受託致します。また小型焼却炉の解体・処分は解体に伴う付着物、周辺土壌、作業環境のダイオキシン類分析の迅速さを強みに多くのご用命を頂いております。また調査・測定や各種シミュレーション技術を強みとして環境アセスメントも行います。

〈省エネ技術部〉 生産工場の各種工業炉や動力設備を対象に、またビル関連では空調・照明設備を対象として専門員による省エネ診断を得意としております。また各種診断システムを用いたFSや設備改善を含む幅広い省エネニーズにお応え致します。

以上のように環境と省エネルギーに関するあらゆる測定・分析・解析・評価からコンサルタントまで、幅広いサービスをより正確に、より迅速に、誠意をもってご提供致します。



計測システム事業部 常務取締役 井田幸夫

当事業部は今回の会社統合を機に戦略的強化を狙い独立させた新事業部で、千葉及び川崎の2箇所に活動拠点を置きます。当事業部は、お客様にとって価値有るOnly One商品を開発販売するとともに、培った計測、機械等の技術を活かし、お客様の技術支援や測定診断を行います。

Only One商品としては、イメージング分光器ImSpectorとラインセンサーを用いて分光と画像処理技術を基盤に工業、医療、農業、鑑識等幅広い分野に光学関連商品開発を行います。更に3次元形状計測機器TRiDYの販売を強化しつつ3次元計測領域でお客様のニーズを頂き、新たな機器開発を展開して参ります。これらは、当事業部のビジネスの柱として開発力を強化致します。

また、ステンレスμファイバー充填導電性樹脂(SUSTEC)は、表面抵抗が均一で加工性が良い等々から半導体用トレイ等で非常に優位性が有り、更なる用途開発を目指します。

支援診断ビジネスでは、様々な物理量の計測方法の提案から現場における計測作業及び受託試験迄、更に、騒音・振動に関する計測、診断、対策等の課題解決からエンジニアリング迄お客様のニーズに幅広く対応致します。

その他、中小企業のお客様の補助金獲得を含む支援サポートを当社全体の広範な技術力をバックに当事業部が推進致します。このように、統合した技術力の戦略的活用で従来の商品及びサービスを重点化しつつ新展開させて参ります。



知的財産事業部 常務取締役 中野善文

旧川崎製鉄および旧日本鋼管の知的財産部門から種々の業務が機能分離され、それらを統合一体化して生まれたのが当事業部です。

長年にわたって培ってきた知的財産に関する技術とノウハウを活用し、また弁

理士や豊富な知的財産業務経験を有する専門能力の高い人材を擁して、JFEスチールを始め、JFEグループの多くの会社の知的財産に関わる業務を受託・支援しています。さらに、広く外部のお客様に対しても知的財産全般にわたるサービスを展開し、当事業部の人材資源の活用を図っています。

当事業部は、知財業務部、スチール知財支援部、グループ知財支援部、知財調査部および特許出願部から構成され、東京、千葉、京浜、倉敷、福山および幕張に人員を配置して最適なサービスを提供しています。特にグループ知財支援部、知財調査部および特許出願部は、お客様に直接ご利用頂ける体制を整えています。

グループ知財支援部は、発明等の発掘から、強力な権利確保までの支援、産業財産権の管理、技術契約や産業財産権をめぐる係争の支援、さらには教育等の知的財産全般に関する支援業務を行っています。知財調査部は、産業財産権に関する調査・解析を行っています。特許出願部は、主としてJFEグループ会社の国内外への特許出願支援業務を行っています。このようにお客様に対するサービスは、グループ知財支援部が窓口となり、当事業部を構成する各部が協力し合って提供しています。



技術情報事業部 常務取締役 実川正治

技術情報事業部は、「的確な情報」と「蓄積された技術」で、お客様の経営をサポートする「技術の専門家集団」です。6つの事業分野を有機的に結合し、技術と情報をベースに、経験豊富な専門家が、迅速に、付加価値の高いサー

ビスをご提供します。

〈調査研究〉 新技術・新商品の開発、新規分野への進出、新しい事業環境への対応などのニーズにお応えし、最新の技術と国際的なネットワークを駆使して、情報調査・解析・研究開発を行い、経営戦略の実行をサポートします。

〈マネジメント支援〉 会社経営に必須の、ISOなどのマネジメントシステムの構築及び認証取得のコンサルタントを実施します。

〈数値解析〉 受託数値解析のみならず、数値シミュレーションを活用し、あらゆる技術課題の解決にご協力します。

〈システム構築〉 オープンソースを利用し、安価に最新のシステムを、ご提供します。

〈翻訳、WEB〉 あらゆる分野の翻訳、及びWEBの企画・製作・管理をお引き受けします。

〈情報検索〉 国内外のデータベースを使用し、あらゆる情報を検索してご提供します。

お客様に信頼され、安心して仕事をお任せ頂ける、「品質の高さ」と「優れた提案力」のある事業部を目指します。

お問い合わせ先

【分析・評価事業部】

LSIから埋蔵文化財にいたる、広範囲の分野における高精度な分析・試験・評価

千葉 TEL:043-262-2313 FAX:043-262-2199
京浜 TEL:044-322-6208 FAX:044-322-6528
知多 TEL:0569-24-2880 FAX:0569-24-2990
阪神 TEL:0798-66-2033 FAX:0798-66-2161
倉敷 TEL:086-447-4621 FAX:086-447-4618
福山 TEL:084-945-4137 FAX:084-945-3989

【環境技術事業部】

環境と省エネルギーに関するあらゆる測定、分析、評価、コンサルタント

千葉 TEL:043-264-5212 FAX:043-264-5212
京浜 TEL:044-322-6200 FAX:044-322-6528
福山 TEL:084-945-5584 FAX:084-945-3989
東京 TEL:03-3217-2177 FAX:03-3217-2169
埼玉 TEL:048-854-7928 FAX:048-854-7928
横浜 TEL:045-506-1096 FAX:045-506-1096
新潟 TEL:025-275-1101 FAX:025-270-7209
静岡 TEL:0543-37-0250 FAX:0543-37-0251
名古屋 TEL:052-561-8630 FAX:052-561-3374

大阪 TEL:06-4390-4124 FAX:06-4390-4128
福岡 TEL:092-643-6890 FAX:092-643-6891

【材料技術事業部】

各種材料、製品、構造物の研究開発サポート、損傷解析、最適利用技術の提言

千葉 TEL:043-262-2186 FAX:043-262-2986
京浜 TEL:044-322-6189 FAX:044-322-6528
名古屋 TEL:052-561-8630 FAX:052-561-3374

【計測システム事業部】

分光器関連、導電性樹脂等、商品の開発販売、各種分野の計測診断

千葉 TEL:043-262-2014 FAX:043-262-2665
京浜 TEL:044-322-6273 FAX:044-322-6529

【知的財産事業部】

知的財産の発掘・権利化、特許調査・出願支援、係争等のサポート

東京 TEL:03-3201-4847 FAX:03-3201-4859

【技術情報事業部】

各種技術動向・情報調査、ISO等のマネジメント支援、翻訳・WEB製作、数値解析

京浜 TEL:044-322-6429 FAX:044-322-6520

くわしくは、会社ホームページで <http://www.jfe-tec.co.jp>

JFE-TEC News <2004>

創刊号
2004年10月発行

発行人/実川 正治

発行所/JFEテクニサーチ(株) 技術情報事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-2 (JFEビル)
Tel: 03 - 3201 - 4892

JFE Techno-Research Corporation 2004

印刷所/大日本印刷株式会社